

西大巔スノーハイク & 山スキー合同山行報告

【山 域】裏磐梯 西大巔

【日 程】2019年2月3日（日）曇りのち晴れのち曇り

【参加者】

スノーハイク CL 柘植・鈴木（憲）・杉山・澤田（路）・加藤・川上・尾崎・金・瀧瀬（記録）

山スキー CL 薄井（記録）・鶴田・石橋

【行 程】グランデコススキー場→ゴンドラ→第4リフト 西大巔往復



前日のお天気とうって変わり雲の合間に青空が！午前中は晴れで午後からお天気が崩れる予報。

8：30 グランデコ駐車場に到着。アプリでお友達になると駐車場料金 1,000 円が 500 円になります！スノーシュー隊と山スキー隊総勢 12 名でゴンドラ終点から右手に少し下り、第4リフトに乗ってスタート地点に到着。9：45 身支度を整えて山頂目指してスノーハイク隊と山スキー隊合同スタートです。



スタートしてしばらくすると、まぶしい紺碧の空が広がります。枝に着いた霧氷と青空のコントラストが素晴らしい！10:50 開けた所に出ると右手に西吾妻山の美しい姿が現れました。全員感動でしばし写真撮影。モンスターたちが風見鶏になっていたり、アザラシになっていたり、晴れているから楽しさも何倍にもなるのでしょう。山頂ではたくさんの人たちが360度の展望を楽しんでいます。

ここで山スキー隊と別行動での下山です。春の陽気に完璧な晴天の中、この素晴らしい自然の中を満喫しながら13:10 リフトトップに下り立ちました。

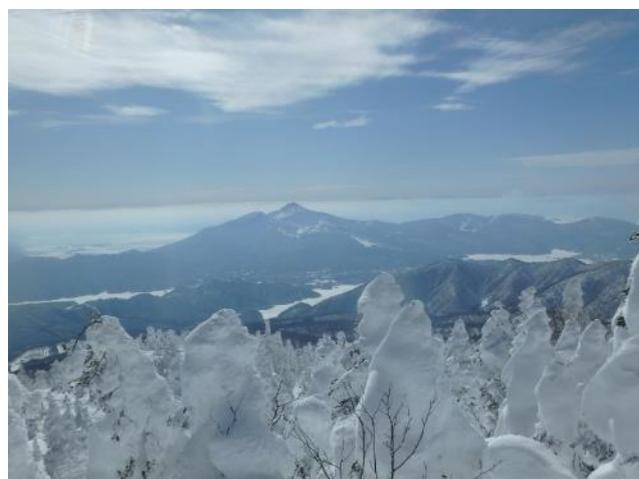
下山途中に杉山さんのスノーシューにアクシデントありましたが、ナイスガイの尾崎さんのフォローのおかげで全員無事に下山出来ました。



西大巔山頂で全員集合の記念写真



モンスター群のなかを縫って下山



磐梯山を望む

【山スキー隊の記録】

今日の西大巔東斜面にはすでにシュプールが刻まれ、雪は安定している様子。とはいえ時間の制約、メンバーの体力があるし、どうしても滑りたいとも思わなかったのも、南西の少し開けた斜面から素直にゲレンデに戻ることにした。しかし登りと全く同じでは面白くないので、スタートしたリフトトップとは反対側のリフトトップを目指してみる。青空で視界はばっちりなので、迷う心配はない。

先行したハイク隊の後を追ってオープンバーンを滑り降りると、樹林帯に突入。最初はどうかと思うほどの密な樹林帯だったが、なるべく広いところを探しながら少しずつ滑った。滑りのトレースに全く出会わなかったのは下手なルート取りのせいかもしれないが、心地よさを感じる。とはいえ気温上昇に比例して雪は想像どおりの重さなので、快適な滑りとは言い難かった。

1時間ほどで目的の第3クワドリフトトップに到着。後はうんざりするほど長いゲレンデを滑り降り、ツアーを終了した。短い距離で慣れないリードでもハイク隊よりも30分ほど早くゴールし、改めてスキーの機動性を実感したのだった。

山スキー隊記録：薄井 まどか